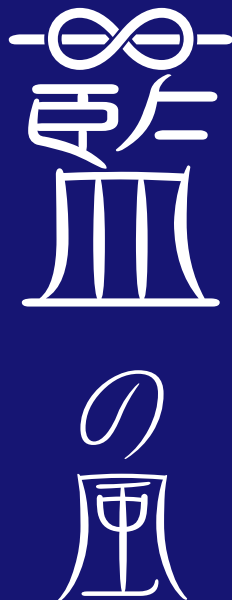


## Contents

- 1 p 今年一年をふりかえって
- 2 p キッチンカー OOPEN! 始動しました
- 3 p 藍展 2020
- 4 p アンシェーヌ監 リニューアルの取り組み
- 5 p ファクトリー監 レクリエーション報告
- 6 p アンシェーヌ監 レクリエーション報告
- 7 p ガーデン監Ⅰ・Ⅱ 近況報告
- 8 p ガーデン監Ⅲ 近況報告  
コンシェルジュ監 「認定調査」の活動について
- 9 p ガーデン監Ⅳ・Ⅴ 近況報告
- 10p SHOP (直営店) 開設に向けて
- 11p ご寄付及び助成金のご報告
- 12p 定例会議報告 新人さん紹介 編集後記



# 第5号

2020年12月15日

編集発行責任者：社会福祉法人 藍

〒154-0023

東京都世田谷区若林 5-2-9 三喜ビル

TEL: 03-3412-1366 FAX: 03-3412-1364

## 今年一年をふりかえって 社会福祉法人 藍 理事長 大野 圭介

あ っという間に12月。今年も残すところあとわずかとなりました。日頃より社会福祉法人 藍をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。またそれぞれの現場で日々奮闘し、「藍」の仕事を支えてくれた職員の皆様には心から感謝いたします。おかげさまで、本年4月にはグループホーム「ガーデン藍Ⅳ・Ⅴ」を開設することができました。この場をお借りして皆様へ心よりお礼申し上げます。

### 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響

今年は思いもかけない新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響で、社会情勢が一変し、世の中が混沌とし、社会福祉業界も大打撃を受けた激動の年でした。本来であれば東京ビックサイトで開催される「日本ホビーショー 2020」やオリンピック関連のイベントに出店予定だったのですが、4月の緊急事態宣言を受けて、事業所の閉所を余儀なくされ、イベントも軒並み中止となり、販売機会が激減し、メンバーさんの工賃確保に知恵を絞った一年でした。

### 人とのつながり

しかし悪いことばかりではなく、たくさんの方々からご支援を受け、人と人とのつながりをより強く感じられる年となりました。兼ねてより検討していたアンシェーヌ監のキッチンカーをハンズオン東京様、かけわ様のご協力の元、6月よりスタートすることができ

ました。おかげさまで連日盛況で、売り上げが激減していたレストラン事業を維持することができるという大きな成果につながりました。毎年恒例の「藍展」も無事に開催することができ、たくさんの方々のご支援を受けて売り上げが昨年度を上回る結果となったのも皆様のお力のおかげです。ウイルス対策に関するたくさんのご寄付も頂戴いたしました。本当に皆様とのつながりを肌で感じられる感慨深い一年でした。

### 今後について

9月に新内閣が発足し、個人的には今後益々弱者にとって厳しい世の中がやってくるなどひしひしと感じています。社福藍では、メンバーさんの経済的自立、そのための工賃向上に長年力を入れてきましたが、まだ思うような成果がでていません。このコロナ禍において、今後景気の上昇は当面の間見込めず、こちらからアクションを起こさない限り、売り上げは上がりず業績の向上は困難な情勢です。そんな中、後のページでもご説明しますが、アンシェーヌ監はパリのミシュランガイドにも掲載されているル・クロのオーナーシェフ黒岩功氏のプロデュースを受けて店のリニューアルに取り組みます。またファクトリー監は、念願の直営店を下北沢に開設いたします。これら先行投資が必ず工賃向上と経営の安定に寄与すると信じて頑張る所存です。今後とも変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## アンシェーヌ藍 キッチンカー OOPEN! 始動しました

.....  
新たなコラボレーションが成果につながる



毎週水曜日は世田谷区役所で販売

アンシェーヌ藍はコロナ禍の影響もあり、レストランの売り上げが激減し苦慮していた折、以前から計画を進めていた「認定NPO法人ハンズオン東京」のキッチンカー（OOPEN!）の運営委託を受けることができました。同法人はインクルーシブな社会をつくる活動を展開していて、農業を中心に活動している学生団体「合同会社かけわ」も含めた3者で連携して6月1日よりキッチンカー事業がスタートしました。

キッチンカー OOPEN! は、ハンズオン東京のLIVESプロジェクトの一環として2018年にスタートし、明治大学・昭和女子大学を中心に販売をしておりましたが、コロナ禍の影響で大学の使用ができず、プランが中座していました。そんな時に、日頃よりご支援いただいている仙台のアップルファーム（六丁目農園）の渡部様からのご紹介で、我々アンシェーヌ藍も参加させていただき、ボランティア×学生×障害者という3者の取り組みでリ・スタートいたしました。いまはこの3者にwithプロフェッショナルという形で、ル・クロも加わり、メニュー開発に力を入れてくれています。

現在は、川田建設株式会社様敷地内及び世田谷区役所内で毎週販売していて、おかげさまで大盛況で、

働く障害者の方々もとても意欲的に楽しそうに働かれています。イベント等でキッチンカーが必要になりましたらぜひお声がけいただけたらと思います。

（大野圭介）



キーマカレー





## ファクトリー藍 藍展 2020



コロナ禍で今年は毎年恒例の「藍展」の開催が危ぶまれ、最後まで開催すべきかどうか迷いました。例年の短期間の開催ではなく、今年は7月21日（火）から8月6日（木）まで、長い期間開催することで3密を回避して無事に終わることができました。

ご来店いただいた皆様にはマスクの着用、検温及び手指の消毒にご協力いただき、おかげさまで、密にならず、売り上げも昨年度を上回ることができ、メンバーさんに例年並みの工賃をお支払いすることができました。開催にご協力いただき、本当にありがとうございました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

(大野圭介)

## アンシェーヌ藍 リニューアルの取り組み

### 料理長の交代

2009年のオープンから長年に渡りアンシェーヌ藍の厨房で腕を振るってこられた尾原寛調理長が今年3月に定年退職で勇退されました。4月からは尾原調理長に教えていただいたレシピを元に私がマネージャー兼シェフとして厨房業務を引き継いでおります。退職される前からレシピや料理器具の扱い方など丁寧に指導していただいたおかげで、現在どうにか大きな混乱もなく厨房に立つことが出来ております。この場を借りて改めて尾原調理長にお礼申し上げます。

### コロナの深刻な影響

けれども、今年初めから新型コロナウイルス感染症（以後、コロナウイルス）が世界中で猛威を振るい、4月7日からは政府による緊急事態宣言が発令されアンシェーヌ藍も5月末までレストラン営業は休業せざるを得ない状況になりました。緊急事態宣言が解除された後もコロナウイルスは全国に流行しており、飲食店であるアンシェーヌ藍は大きな打撃を受けてしまいました。終わりの見えない現状にレストラン事業を辞めて内職や別の事業への変更も視野に入れて検討しなければと思うほど追い詰められていました。

### ル・クロの黒岩氏の協力を得る

そんな折、以前から親交があった大阪の人気フレンチレストラン「ル・クロ」のオーナーシェフ黒岩功氏に相談したところ、黒岩氏より「コロナと共存しながら生き残るレストランを作ろう！福祉と料理を融合させたユニバーサルなフレンチレストランを目指しましょう！」と心強いお言葉をいただきました。そこで早速8月より黒岩氏のプロデュースを受ける事になりました。

改めて黒岩氏をご紹介しますと、大阪の中心部に3店舗、京都に2店舗、さらにパリにはミシュラン掲載店があります。また、自ら代表理事として数年前に就労系の事業所「バリューラボ フクロウ」「ル・クロ ラボ 京都」とクッキング専門放課後等デイサービス「ル・クッカー」を開業。現在、3号店の「ル・クロ・ド・マリアーージュ」では障害を持った方が施設外就労とし



ル・クロ黒岩氏と

て厨房やフロアなどで作業を行い、プロのシェフが支援者となる事で、ユニバーサルフレンチレストランを実現しています。

私も8月に2週間と短い間ですが、黒岩氏をはじめシェフの方々から調理の基礎や手順などを教わる修業の機会を得ました。調理工程の細分化や時間の割り振りと言ったオペレーションをまじかに体験して多少ですがアンシェーヌ藍でも活かせる時間の使い方が出来るようになってきたと実感しています。この10月にはシェフとして初めてのディナーも務めましたが、黒岩氏より事前に細かく作業内容や工程を教えていただいたので、無事に終える事が出来ました。

### リニューアル オープンを目指して

今後の展開としては来年1月のリニューアルを目指して準備を進めています。今までのアンシェーヌ藍の伝統を引き継ぎながら黒岩氏との関りの中で新しい形のアンシェーヌ藍として生まれ変われば。お客様に満足していただくのはもちろん、そこで働いている利用者、職員も働く楽しさや面白さを見つけられる環境を作り、いずれは「作業所に通所している」ではなく「フレンチレストランで働いてる」と思えるような場を作りたいと夢を描いています。（経塚章寛）



店内も改装しています





▲玉堂美術館のお庭



◀◀清流ガーデンからの景観  
◀昼食の釜飯

初は奥多摩の日原鍾乳洞まで足を延ばす予定でしたが、がけ崩れのため、大型バスは通れず断念 ((´ ; ω ; `)ウツ… でも雨予報の天気を 21 名の日頃の行い (?) が吹き飛ばし晴天の中で青梅を満喫できました。

最初の待ち合わせでは今年もハプニングがありましたが、まずは玉堂美術館へ。目の前を多摩川がダイナミックに水しぶきをあげて流れています。この美術館は五島美術館と同じ建築家が設計したそうです。川合玉堂の作品を鑑賞しながら、枯山水の見事なお庭もあり心地良い時を過ごせました。

正午をだいぶ過ぎてお腹がすいてきたところで昼食をいただきにおくたま路へ。大広間に 2 名ずつの席で驚くほどソーシャルディスタンスが取られています。品の良い (少ないわけではありません) 和食に舌鼓 (^ ^) し、食後は土産物屋さんでお買い物。日本酒を買う人が多かったのが印象的でした。GOTO クーポンを使っの初めての買い物に皆テ

ンションが上がります。

そして最後の目的地清流ガーデンへ。ここは澤乃井を冠する小澤酒造に隣接する多摩川の畔に広がる庭園です。新鮮な空気を思いっきり吸い、吊り橋からの見事な景観を満喫し青梅を後にしました。

落ち着かないご時世ですが、ゆったりした清々しい場に癒される旅でした。来年もまた皆一緒に新たな旅に出られればと思います。

### 参加者の声

- ・ 天気が良く景色も良く楽しかった
- ・ 松茸もあり豪華な食事だった
- ・ 思わず写真を撮りたくなる景観だった
- ・ GOTO クーポンはお小遣いが減らず嬉しい
- ・ OO職員とお土産を一緒に選べて楽しかった
- ・ 誕生日に普段行けないところに行けて緑が多く癒された 等々

(近藤倫絵)

アンシェーヌ藍  
レクリエーション報告

## 香取のバーベキュー、水郷の町佐原を堪能

日帰り旅行 2020 in 香取 (10.23)



長 く厳しい残暑もようやく落ち着き、秋めいてきた10月23日(金)、例年より少し早めの日帰り旅行へと出かけました。一昨年、昨年はファクトリー藍と合同でしたが、今年は新型コロナウイルス感染症も考慮して別々での開催となりました。

アンシェーヌ藍は「農園リゾート ザファームでBBQ!」と題し、千葉県・香取市へ。香取はキッチンカーでもお世話になっている「かけわ」さんの畑のある地。機会があればぜひ訪れてみたい、との思いもあってこのたび実現しました。かけわの代表でガーデンI・IIの非常勤職員でもある岡田天太さんも参加。香取の魅力やおすすめスポットを案内していただきました。

この日の天気予報は曇りのち雨。どうかバーベキューまで持ちこたえてくれますように……と心のなかで祈りながら9時過ぎ、一行を乗せたバスは三軒茶屋を出発しました。千葉県の北東部に位置する香取市。ぼんやりと外の景色に目をやりながらうとうとしているのもつかの間、高速道路を降りてしばらくすると右に左に畑が広がり、その先に目的地のザファームが見えてきました。



### BBQ でお腹いっぱい

幸いぽつぽつと気にならない程度の小雨。はやる気持ちでバーベキュー会場へと移動し、現地スタッフから手順の説明を受けると、楽しいバーベキュータイムのはじまりです。自分たちで火起こしから配膳まで行うのは大変でしたが、緑をすぐ側に感じながらいただく焼き立て熱々の食事は格別の美味しさ! 特大サイズのステーキに色とりどりのフレッシュな地元野菜、さらにデザートのマシュマロまで「甘いものは別腹!」と、お腹いっぱいいただきました。

### 佐原の町並みを散策

14時、食後の運動も兼ねて向かった先は、同じく香取市の佐原。佐原は「北総の小江戸」と呼ばれ、かつて利根川水運の中継基地として栄えた水郷の町です。岡田さんの後に続いてその面影を残す町並みを散策しました。本格的に雨が降ってきてしまいましたが、そんな雨に濡れる町並みも風情があり絵になります。小野川沿いや香取街道には、伊能忠敬の旧宅をはじめ、伝統的な製法にこだわったごま油屋や酒蔵など、江戸時代より続く老舗のほか、古民家をリノベーションした素敵なレストランやカフェ、ホテルもあちこちに。東京からも車で約1時間半とアクセスも良好なのでまたゆっくりと遊びに来たいものです。

コロナの影響で、イベントというイベントが軒並み中止となってしまったなかでの今回の外出は、良い気分転換となったのではないのでしょうか。テイクアウトやオンラインでは味わえない楽しい時間をみんなシェアすることができました。

(三上もも子)



ガーデン藍  
Ⅰ・Ⅱ

## 今年のハロウィンとおでんパーティー



今年  
年はコロナ禍ですが、ガーデン藍Ⅰ・Ⅱでは色々生活の中で工夫をしております。夏以降、テーブルの上にアクリル板を置くようにしており大声で話すことなどはしないように努めてきました。交流室の使用時間も決めて消毒しています。



### ハロウィン

そんな中、今年のハロウィンはどのような形にしようかとメンバーさん方と話し合いました。話し合いの結果、皆で交流室にはハロウィンの飾りつけをして仮装したい人は食事の時間にするとということになりました。

ハロウィン当日、各々工夫して仮装したメンバーさんが交流室に登場しました。プリンセスや魔法使いなど堂々となりきっているメンバーさんもいれば、少し恥ずかしそうな方、仮装されるがままの方、なにもしたくない方と様々です。

美味しく食事をいただいた後は、デザートにカボチャケーキをいただきました。

### おでんパーティー

また、少し寒くなってきた日に「おでんパーティー」をしました。皆さんはマスクをして並び、好きなものを職員に取ってもらうという形です。

メンバーさん方はおかわりをして楽しみました。なかなか楽しみの少ないコロナ禍ですが、食事の時間を通して少しでも楽しい時間を過ごしていただけたらと思います。これからもメンバーの皆さんの笑顔がたくさん生まれるような生活を目指していきたいです。そして、心も温かくなって健康な日々でありますようにと願っております。

(門馬知子)

## ガーデン藍Ⅲ 新たな環境での地域交流に取り組んでいます



花 林から野沢に引っ越しをし、早いもので9か月がたちました。以前と比べると最寄り駅からの道のりも遠くなってしまい、当初は買い物やお出かけに不便さを感じている方も多かったようですが、なんとか新しい生活にも慣れてこられたようです。またこの間2名の方がご卒業し、新たな地域生活を始められました。こちらは常にお送りする立場ですが、どの方も入居された頃のことを思い返すととても感慨深いものがあります。

さて、こちらに引っ越してきてから、これまでスタッフや建物のオーナーが行っていた廊下や階段などの共用部分の清掃を、入居者の方と共に当番制で行うことになりました。古くからある住宅街の真ん中に位置しているため清掃中には近隣住民の方々のご挨拶を交わすこともあり、これまで以上に交流の機会が増えてきています。これからも地域の方々に支えられながら、入居者の皆さんがより良い地域生活を送れるようより一層努めていきたいと思えます。

(飯田純也)

## コンシェルジュ藍 「認定調査」の活動について

コンシェルジュ藍は特定相談支援事業の指定を受けて計画相談を行っていますが、実はもう一つ「認定調査」という事業も受けています。あまり聞きなれない方もおられるかと思うので、今回はこの障害認定調査についてご説明をさせていただきたいと思えます。

認定調査とは正しくは「障害支援区分認定調査」といいます。福祉サービスの利用申請をすると、市区町村はその方が福祉サービスを受ける必要がある状態にあるのか、またどれぐらいの支援が必要なのかを判断します。その際の指標の一つになるのが「障害支援区分認定調査」の調査結果です。市区町村の担当職員、もしくは委託を受けた民間の事業者がご本人様やご家族の元を訪問し、国の定めた心身の状況に関する80項目などについて聴き取り調査を行います。コンシェルジュ藍では昨年度は32件、今年度

は新型コロナウイルスの影響で件数は大幅に減少しましたが11月現在で6件の調査を行いました。

利用するサービスの種類によってはこの調査が不要な場合もあります。詳しくは市区町村の障害福祉を担当している窓口や、普段よく関わりのある支援者の方にご相談してみてください。



(飯田純也)



## ガーデン藍Ⅳ・Ⅴ 新規オープンして 8 か月がたちました



和 2 年 4 月、ガーデン藍の新たなユニットとして「ガーデン藍Ⅳ・Ⅴ」がオープンしました。駅から徒歩 1 分という好立地の、5 階建て新築ワンルームマンションタイプに 8 名の入居者さん達が日々、生活しています。

### 運営概要

精神障害の方を対象入居者とし、月曜～日曜・祝日まで 9:00～17:15 の日中支援体制、夜間は職員が緊急携帯にて対応しています。職員は精神保健福祉士・介護福祉士・看護師など、常勤非常勤含めた 6 名程で入居者の支援にあたります。

### 利用者概要

- ガーデン藍Ⅳ 精神障害者（通過型、期限 3 年）  
定員 6 名
- ガーデン藍Ⅴ 精神障害者（滞在型）  
定員 2 名



### 支援・近況

お一人おひとりの夢や「なりたい方向性」を大切に、個々のライフプランを一緒に話し合いながら計画しています。入居者の方は一日 1 回交流室兼事務室へ来室頂き、心身の健康状態や日々の報告を行い、必要に応じて家事援助・金銭管理援助・通院同行・他機関連携等、きめ細かな支援を心掛けています。

また、恒例の月 1 交流会では、お茶やお菓子を楽しみながら、入居者さん同士が皆で話し合い、個々の不安や課題を共有し、相談し合える場を設けています。

土日には入居者の方々発信のイベント（公園へピクニック、書を楽しむ会、簡単お菓子作り、映画を楽しむ会、等）を自由参加で楽しむといった光景も増えてきました。

オープン当初は、コロナによる突然の「緊急事態宣言」下にて、皆さんお引越し後慣れない中、日常支援の制限もかかってしまう等ありましたが、今では職員や入居者さんの団結心も育ち、とても良い雰囲気がつくられて来ていると実感しています。

ガーデン藍Ⅳ・Ⅴの特徴としては、単に生活支援というだけでなく、お一人おひとりの人生に寄り添い、グループホーム生活の経験を通じて、日々の泣き笑いの中から、自分自身の気づきを得られるように、また、自分らしい人生を自ら歩んで行かれるように、全職員が伴走しているところだと思います。ガーデン藍Ⅳ・Ⅴのこれからが楽しみです。

(中澤美和)

## ファクトリー藍 念願のSHOP (直営店) 開設に向けて



ファクトリー藍は、ここ数年売り上げが横ばいで月額平均工賃が全国の就労継続支援B型事業所の平均工賃額を下回る結果となっています。国の方針で補助金単価が2018年度より平均工賃の金額で算出されるようになり、工賃が上がらない事業所は補助金も減らされるという状況です。我々の製品(藍染・刺子・織り)自体の評価はとて高く、どうにか工賃向上をできないものかと長年模索しています。

振り返ってみると「藍工房」の時代から基本的には「藍展」とバザー、委託業者に任せての販売でやってきました。しかし今回のコロナ禍で、各種イベントが中止となり販売機会が激減し、委託業者頼みという現状から脱するためには、長年構想していた自前のショップ(直営店)を持つ時期にきていると思われます。

ここ数年ファッションの街「下北沢」エリアに出店したいと思いリサーチしていましたが、世田谷区でもっとも地価の高い地域なので、なかなか手がでない状況でした。しかしこのコロナ禍の影響で新規の出店希望者が減り、割と手頃な価格で下北沢駅から徒歩4分に11月末竣工のビルの1階部分テナント(19.55㎡)を借りることができました。ここにファクトリー藍のSHOP(直営店)を開設し、メンバーさんがより社会と触れ合う働く体験の場として活用し、工賃向上を目指していきたいと思っています。

現在2021年2月の開設に向けてプロジェクトが動いています。開設の折にはぜひとも皆様にお越しいただけたらと思います。ご愛顧の程どうぞよろしく願いいたします。(大野圭介)



## ご寄付及び助成金のご報告

本年はコロナ禍において、ウイルスの感染拡大を防止するためのグッズ等のご寄付や助成金を賜りました。一部ではございますが、ここにご紹介させていただきます。

### 島田商会株式会社 様

フェイスシールド及びアクリルパーテーション



### ゴディバ JAPAN 様 (ハンズオン東京様を介して)

クッキー



### 日本コンピュータビジョン株式会社 様

(ハンズオン東京様を介して)

自動検温器



### 「世田谷区地域保健福祉等推進基金」を活用した「世田谷区福祉施設等支援事業」助成金を受けて

AED (自動体外式除細動器) の購入



### 世田谷区高齢者・障害者施設等支援金により

オゾン除菌・脱臭機エアバスターを導入



社福藍家族会・保護者会様より 450,588 円のご寄付を賜り、メンバーさんが快適に使用でき且つ衛生面を向上するために男性トイレの修繕費用に活用させていただきました。

ご寄付賜りました皆様にはこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

(大野圭介)



## ご寄付・ご支援をお願い申し上げます

本部事務局

社会福祉法人藍では、障害者福祉に関心のある皆様、法人・団体の皆様からの寄付金を幅広くお受けしたいと思います。私たちが行う社会福祉事業は、国・地方自治体からの補助金によって実施されていますが、今後も新規事業に取り組みたいと思っており開設資金として、支援していただける皆様の寄付金を財源にして、一人ひとりの夢の実現を目指したいと考えています。

多くの皆様のご支援、ご援助を心からお願い申し上げます。ご協力いただける場合は同封の用紙をご利用ください。



## 新人さん紹介 「藍」に新しい風を送り込んでくれると期待しましょう。

自らのできることを一つ一つやっていくのみ

ガーデン藍Ⅳ・Ⅴ 中澤 美和

皆様はじめまして。今年1月より社会福祉法人藍に入職し、4月よりガーデン藍Ⅳ・Ⅴ施設長として配属されました。中澤美和と申します

私は一般企業での勤務経験後、メンタルクリニックにて10年弱、ソーシャルワーカーとして従事して参りました。「お一人お一人の人生に、より幅広いフィールドで関わっていききたい」という思いが強くなり、障害福祉分野に移り、就労支援等に携わるようになりました。当法人にご縁をいただき、今年からグループホームの1ユニットを任される立場となり、身の引き締まる思いです。

「一人ひとりの夢の実現」や「共生社会を目指す」の理念は、私自身の大望でもありますが、思いを形にする

こと、具現化することの難しさを、日々痛感させられる毎日です。行き詰ったときには私はいつも、シンプルに立ち返ります。

明石家さんまさんのお嬢さんの命名に際し、「生きてるだけで丸儲け」という言葉がありました。私たちは誰もが、この世に奇跡的に生を受けた、かけがえのない存在です。一度きりの人生を、その方らしく謳歌できるように、それだけを願い、自らのできることを一つ一つやっていくのみ。そう思って仕事に向かっています。

今後とも、皆様のご協力、ご支援、ご指導のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 定例会議の報告

10月22日に社会福祉法人藍の理事会が開かれました。

そのご報告をいたします。

### 社会福祉法人藍 第81回理事会

開催日時：令和2年10月22日(木)

18:00～19:30

開催場所：アンシェーヌ藍

本年度の役員会議が10月22日に開催された。令和2年はコロナ禍の折、決議の省略の理事会が続いたが本理事会には理事全員が出席。アンシェーヌ藍リニューアル及び、ファクトリー藍ショップ開設案について理事長から説明があり、質疑応答の後、全員一致にて承認された。議案については以下の通り。

#### 〈議案〉

第1号議案 アンシェーヌ藍リニューアルに向けて

第2号議案 ファクトリー藍ショップ開設に向けて



#### 高橋紘子さんを偲ぶ

今年はずいぶんいろいろな事があった年ですが、私にとってはかけがえのない友人であった、高橋紘子さんとお別れした年でもあります。

今年の2月25日、まだ寒く春の花も咲かない季節で、耳をすませばコロナの足音が聞こえそうな時期でもありました。

NPO 藍工房での理事会や、「藍工房」(当時名)の様々な活動を通して知り合いましたが、本当に私心のない弱者の味方、月光仮面のような方でした。

明るくて屈託のない人柄は藍のメンバーさんにとっても肝っ玉母さんのような存在だったと思います。また「藍工房」の創業者竹ノ内さんの生涯の同盟者であり、その活動を支え続けた人でもあります。

なぜあんないい人があんなに早く、いったい神様は何を考えてるんだろうと思ったものですが、今思えば天国でも高橋さんを必要とする人が一杯いて、呼ばれちゃったのかなーなんて思ったりします。

改めて年の明けた春には「高橋さんを偲ぶ会」を仲間たちと開いて思い出を語り合いたいと思っています。何はともあれ「藍」に無償の奉仕と愛を贈ってくれた高橋紘子さんに心から感謝の気持ちを届けたいと思います。

(三須真澄)